

コード	201050301
記入日	H23.5.31

# 事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石 英穂
担当者	川淵 靖

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	浦浜下水処理施設管理運営事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	6
事務事業コード	2010503	事務事業名称	下水処理施設管理費	細目コード	49
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画		法令・条例規則等	新上五島町浦浜地域し尿処理条例	

## 計画 ( PLAN )

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 施設利用世帯		(対象指標1) 182世帯 ( H22.4.1現在 )						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 ( 上段：全体、下段：評価年度 )						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・浦浜地域し尿処理施設の維持管理を行った。 【事業内容】 →需用費 ( 主に光熱水費 ) 1,529千円 →役務費 ( 主に汲取り手数料 ) 1,042千円 →委託料 1,048千円 他 →合計 3,716千円		① ***** 保守点検回数	52回	100%	保守点検回数52回+計画保守点検回数52回	***** 平成22年度
				(達成率分析)	保守点検計画52回に対して予定通り保守点検を実施した。			
				② ***** 修繕回数	2回	100%	修繕回数2回 / 修繕計画2回	***** 平成22年度
				(達成率分析)	修繕計画2回に対して予定通り修繕を実施した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 ( 上段：全体、下段：評価年度 )						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				① ***** 施設稼働日数	365日	100%	施設稼働日数365日+年間稼働日数365日	***** 平成22年度
				(達成率分析)	適切な維持管理を行ったため、稼働停止日数はなかった。			
				② ***** 施設内維持管理	3回	100%	施設内維持管理 / 計画維持管理	***** 平成22年度
				(達成率分析)	計画通りの施設内維持管理を実施した。(草刈・清掃等)			

## 実施 ( DO )

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	304	304	252	52	52				
	② 回	2	2	-	2	2				
成果指標	① 日	2,191	2,191	1,862	365	365				
	② 回	3	3	-	3	3				
総事業費 C (A+B)	千円	41,450	38,475	34,059	7,391	4,416				
直接事業費 A	千円	37,250	34,275	30,559	6,691	3,716				
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	37,290	34,315	30,599	6,691	3,716			
一般財源	千円	4,160	4,160	3,460	700	700				

**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	本町の海域及び河川等の水質保全を図るために必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	本町の生活排水の処理率は、まだ低く事業の継続は必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	汚水等の排出者は、利用者であり、生活排水を処理するのが施設の目的である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	施設の稼働日数は、計画通り稼働できている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の継続が必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	利用者に支障を来し、海域や河川の水質汚濁に繋がる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	削減項目がない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人数が妥当である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	収入額が施設維持管理費を上回っている。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	適切である。
		有効性	適切である。
		効率性	適切である。
		課題に向けた改善策	水質の汚濁負荷の高い油脂等の流入があるので、地域内の利用者に対して油脂等を流さないように指導・啓発を行い、本施設の適正な維持管理に努める。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	指摘事項の管理組合の設置について検討がなされていない。引き続き検討し方針を出すこと。
		効率性	施設の維持管理は適正に行うこと。また、今後の改修費等のため改修計画との関連で収入額の余剰分は基金設置の検討を指摘していたがその方針を示すこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。